

岐阜大学大学院連合獣医学研究科  
博士課程学生募集要項

平成 23 年度 (秋季入学)・平成 24 年度 (第 1 次, 第 2 次)

構成国立大学法人

( 帯 広 畜 産 大 学  
岩 手 大 学  
東 京 農 工 大 学  
岐 阜 大 学 )

連携研究機関

( 国立感染症研究所  
国立医薬品食品衛生研究所  
農研機構動物衛生研究所  
日本中央競馬会 (JRA 競走馬総合研究所) )

**THE UNITED GRADUATE SCHOOL OF VETERINARY SCIENCES**

**GIFU UNIVERSITY**

**APPLICATION FOR ADMISSION TO  
THE DOCTORAL PROGRAM**

**FOR 2011 (Fall Admission) and 2012 (First & Second Round Admissions)**

**MEMBER UNIVERSITIES**

( OBIHIRO UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND VETERINARY MEDICINE  
IWATE UNIVERSITY  
TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND TECHNOLOGY  
GIFU UNIVERSITY )

**COLLABORATIVE INSTITUTES**

( NATIONAL INSTITUTE OF INFECTIOUS DISEASES  
NATIONAL INSTITUTE OF HEALTH SCIENCES  
NATIONAL INSTITUTE OF ANIMAL HEALTH  
JAPAN RACING ASSOCIATION (EQUINE RESEARCH INSTITUTE) )

## 連合獣医学研究科憲章

連合獣医学研究科は、帯広畜産大学、岩手大学、東京農工大学、岐阜大学及び4研究機関に在籍する獣医学系教員の連携協力のもと、一大学では期待し難い発展性と応用性の高い総合教育および研究指導を行い、広い視野と高度な専門能力を兼ね備えた研究者や技術者を養成することを目標としている。これにより獣医学術および関連諸科学の進展と21世紀社会の健全な発展に寄与し、国や社会から存在意義が高く評価される研究科を目指します。

1. 4大学4連携研究機関による連合効果を教育・研究面に十分活かすよう努める。
2. 専門能力はもとより広い視野と高度な倫理観を備えた人材を養成する。
3. 独創的・先駆的な研究を展開し、世界の研究教育拠点を目指す。
4. 研究成果を社会へ積極的に還元し、成果をもとに社会活動を推進する。
5. 留学生の人材育成等を通して国際貢献、国際交流を推進する。
6. 教職員の意志疎通を徹底し、効率的で円滑な管理運営を推進する。
7. 研究科の活動および運営全般を不断に点検し、積極的に改善・改革を推進する。

# I. 岐阜大学大学院連合獣医学研究科の概要

## 1. 設置の趣旨

本研究科は、獣医学科又は獣医学課程を有する帯広畜産大学、岩手大学、東京農工大学及び岐阜大学の国立大学法人が連携協力して設置する標準修業年限4年の大学院博士課程で、1専攻4連合講座（次頁参照）からなる。

本研究科は、獣医学に関する高度な専門的知識と優れた応用能力を生かして、独創的かつ先駆的な研究を遂行しうる研究者及び社会の多様な方面で活躍できる高度技術者を養成し、獣医学及び関連諸科学の発展と社会の進展に寄与することを目的とする。

また、近年急増しつつある外国人留学生も積極的に受け入れ、獣医学術の国際的ニーズに対応し、国際協力にも貢献するものである。

## 2. 連合獣医学研究科の特色

本研究科を構成する4大学の教育研究内容には、それぞれの大学の沿革とその地域の立地条件に対応した特色がある。本研究科は、4大学獣医学科又は獣医学課程の連携協力により、これらの特色を縦横に活用し、一大学では望み得ない多彩な教育研究の展開を図る。また、平成13年度から、国立感染症研究所、平成15年度から、国立医薬品食品衛生研究所及び平成16年度から、農研機構動物衛生研究所、平成20年度から日本中央競馬会（JRA 競走馬総合研究所）との連携協力により、専門知識のある研究者による指導と高度な研究設備の整った同所での研究が可能となった。これにより多種多様な学生の志向に適切に応え、より自由な研究分野の選択を可能にするとともに、社会の要請に柔軟に応えうる人材を養成する。

出願及び修学上の特色は次のとおりである。

- (1) 出願者は、連合獣医学研究科の連合講座と其中的の教育研究指導分野の1つを選んで出願する。
- (2) 本研究科では、学生1人について主指導教員1人のほかに副指導教員2人を充てる。従って学生1人につき3人の指導教員がつくことになる。
- (3) 学生は、主指導教員が専任として在職する構成法人に配属され研究指導を受けるが、他の構成法人の施設・設備も利用することができる。
- (4) 学生は、研究指導に加え、さらに講義、演習、実験を通じ計30単位以上を履修しなければならない。
- (5) 本研究科は、標準年限を4年とするが、優れた研究業績を上げ、かつ、所定の単位を取得した者にとっては3年又は3年6月で修了を認めることができる。

### 3. 専攻名と連合講座の概要

専攻	連合講座	概要
獣    医    学	基礎獣医学	哺乳類，鳥類を主な対象とし，それぞれの動物の有する形態及び機能についての高度な教育と研究を行い，併せて，病態，応用及び臨床の各分野に資する基礎的知識を修得させる。さらに各種動物の特性の背景となっている生命現象発現機構の理解を比較生物学的視点から深化させ，獣医学のみならず，バイオサイエンスの研究の発展に寄与する高度な教育と研究を行う。
	病態獣医学	基礎獣医学における動物の正常な形態と機能に関する知見を，応用及び臨床獣医学へつなげる領域である。疾病は，生物，物理及び化学的要因に対する生体応答であり，形態的变化（細胞性反応）と内因性物質の新生あるいは量的変化（体液性反応）として発現する。それら疾病の生体反応の仕組みを解明したり，その発現を阻止するための薬理的あるいは病理学的領域に関する高度な教育と研究を行う。
	応用獣医学	疾病の発生を規定している生体・病原・環境要因の特性とそれらの相互作用について，分子・個体・集団のレベルを合わせて総合的に理解を深めさせる。それを基盤として，各種動物の健康増進と伝染性・多発性疾患の予防による動物の福祉と生産性の向上，人獣共通感染症の対策，安全な食品の確保，環境の保全などに必要な理論とその応用に関する高度な教育と研究を行う。
	臨床獣医学	基礎，病態及び応用獣医学の各分野における知見を基盤とし，経済動物，伴侶動物，実験動物及び水生動物の個体並びに集団における疾病の発生原因，機序及び病態を解明するとともに，疾病のより高度な診断，治療及び予防法を確立する。併せて，産業動物の生産病対策及び胚移植に代表される発生工学的分野の進展とそれに随伴する病的要因の除去に関する高度な教育と研究を行う。

別表 岐阜大学大学院連合獣医学研究科教育研究指導分野一覧

連合講座名	教育研究指導分野	専門試験科目	主指導教員氏名 (所属大学)	研究内容
基礎獣医学	比較組織学	獣医解剖学	北村延夫 (帯広畜産大学)	消化器系及び自律制御系の比較組織学
	ゲノム機能学	実験動物学	鈴木宏志 (帯広畜産大学)	発生工学による遺伝子の機能解析及び発生・生殖工学的技術開発
	原虫病予防治療学	獣医寄生虫学	河津信一郎 (帯広畜産大学)	原虫ゲノム・タンパク質機能情報に基づいた新たなワクチン・治療法の開発
	神経解剖学	獣医解剖学	谷口和之 (岩手大学)	脊椎動物の中樞神経系及び感覚器に関する比較解剖学
	細胞システム学	獣医生理学	山本欣郎 (岩手大学)	感覚受容器の形態機能学
	細胞生理学	獣医生理学	橋爪一善 (岩手大学)	細胞の分化・増殖に関わる特異遺伝子の解析と機能に関する研究
	比較解剖学	獣医解剖学	■ 神田尚俊 (東京農工大学)	哺乳動物染色体の分子構築の解析
	生殖生理学	獣医生理学	田谷一善 (東京農工大学)	ホルモン分泌及び作用発現の機構に関しての哺乳類の生殖を中心とした比較生理学
			渡辺元 (東京農工大学)	生殖現象の内分泌学的調節機構の比較生理学
	神経生理学	獣医生理学	志水泰武 (岐阜大学)	消化管運動の調節機序
脳形態学	獣医解剖学	阿閉泰郎 (岐阜大学)	哺乳類及び鳥類の比較神経解剖学	
病態獣医学	神経薬理学	獣医薬理学	石井利明 (帯広畜産大学)	脳神経系における生理機能の発現や病態形成における分子機構の解明
	病態病理学	獣医病理学	古岡秀文 (帯広畜産大学)	神経筋疾患の病理, 感染症の病理(動物プリオン病, Lawsonia感染症等)
	毒性薬理学	毒性学	古濱和久 (岩手大学)	医薬品における有害作用の研究
	獣医寄生虫学	獣医寄生虫学	板垣匡 (岩手大学)	寄生虫の形態・分類学, 疫学, 生態学, 分子系統学に関する研究
	細胞病理学	獣医病理学	御領政信 (岩手大学)	各種疾患の細胞レベルでの病態
	臨床薬理学	獣医薬理学	下田実 (東京農工大学)	薬物速度論に基づいた家畜における理想的な薬物療法の追求
	毒性病理学	獣医病理学	三森国敏 (東京農工大学)	化学物質により誘発される毒性及び発癌性についての分子病理学的研究
	内因性物質薬理学	獣医薬理学	海野年弘 (岐阜大学)	平滑筋における薬物受容体の情報伝達機構の解明
	比較病理学	獣医病理学	柳井徳磨 (岐阜大学)	各種疾病の病理発生と比較病理学
	応用獣医学	応用分子生物学	獣医公衆衛生学	■ 武士甲一 (帯広畜産大学)
蛋白毒素科学		獣医微生物学	倉園久生 (帯広畜産大学)	細菌感染症における蛋白毒素の役割
病原微生物学		獣医微生物学	原澤亮 (岩手大学)	マイコプラズマ及びペスチウイルスの感染制御
食品安全学		獣医微生物学	重茂克彦 (岩手大学)	細菌毒素の分子生物学
獣医伝染病学		獣医伝染病学	白井淳資 (東京農工大学)	動物感染症蔓延防止に関する研究
食品安全管理学		獣医公衆衛生学	藤川浩 (東京農工大学)	食品中での微生物増殖挙動
獣医衛生学		家畜衛生学	竹原一明 (東京農工大学)	家畜伝染病の制御
分子感染症学		獣医微生物学	福士秀人 (岐阜大学)	偏性細胞内寄生体の病原性に関する研究
分子診断学		獣医公衆衛生学	石黒直隆 (岐阜大学)	分子レベルでの各種疾病現象の解説並びに原因究明と診断
人獣共通感染症学		獣医公衆衛生学	杉山誠 (岐阜大学)	ウイルス性人獣共通感染症の発生機構と制御に関する研究
野生動物保護管理学		野生動物医学	鈴木正嗣 (岐阜大学)	野生動物の生態, 生理, 形態に関する応用研究

連合講座名	教育研究指導分野	専門試験科目	主指導教員氏名 (所属大学)	研 究 内 容
応用獣医学	新興感染症学	獣医微生物学	※ 渡邊治雄 (岐阜大学)	新たに認識された人獣共通の感染症についての疫学・診断及び予防
	再興感染症学	獣医微生物学	※ 山田章雄 (岐阜大学)	再び流行している既知の人獣共通感染症についての疫学・診断及び予防
	新興ウイルス学	獣医微生物学	※ 森川茂 (岐阜大学)	ウイルス性出血熱等の重篤な人獣共通感染症についての疫学・診断及び予防に関する研究
	食品衛生学	獣医公衆衛生学	☆ 山本茂貴 (岐阜大学)	食中毒の疫学と予防に関する研究
	食品微生物学	獣医公衆衛生学	☆ 五十君静信 (岐阜大学)	食品微生物の検査法及び健康被害の制御
	食品危害科学	獣医公衆衛生学	☆ 小西良子 (岐阜大学)	マイコトキシンの毒性及び制御
	獣医微生物学	獣医微生物学	★ 西藤岳彦 (岐阜大学)	人獣共通感染症の感染疫学と発症機序の解明
	家畜衛生学	獣医微生物学	★ 恒光裕 (岐阜大学)	経済的被害の大きな家畜ウイルス病の診断, 疫学及び予防に関する研究
		家畜衛生学	★ 村山裕一 (岐阜大学)	プリオンの高感度検出技術の開発
臨床微生物学	獣医微生物学	★ 内田郁夫 (岐阜大学)	牛由来サルモネラの分子疫学的研究	
臨床獣医学	大動物内科学	獣医内科学	猪熊壽 (帯広畜産大学)	大動物の内科疾患の診断法および治療法に関する研究
	臨床放射線学	獣医放射線学	山田一孝 (帯広畜産大学)	獣医臨床における画像診断に関する研究
	臨床病理学	獣医臨床病理学	宮原和郎 (帯広畜産大学)	家畜の各種疾患における画像診断を中心とした臨床病理学的研究
	代謝病学	獣医内科学	佐藤繁 (岩手大学)	乳牛の周産期疾病の病態及び予防に関する研究
	大動物診断治療学	獣医外科学	山岸則夫 (岩手大学)	動物における疾患の診断・治療・予防に関する研究
	小動物病態内科学	獣医内科学	佐藤れえ子 (岩手大学)	免疫不全などの病態に対する解析と新規免疫賦活療法の開発
	繁殖機能制御学	獣医臨床繁殖学	居在家義昭 (岩手大学)	家畜における分娩後の繁殖機能回復機構の解明と受胎性に関する研究
	獣医病態検査学	獣医内科学	安田準 (岩手大学)	病態解明のための獣医臨床検査診断学的研究
	小動物臨床外科学	獣医外科学	宇塚雄次 (岩手大学)	獣医小動物外科学分野における診断, 治療法の開発
	獣医皮膚病学	獣医内科学	岩崎利郎 (東京農工大学)	動物の皮膚疾患の発症機序の解明と治療法の開発
	腫瘍免疫学	獣医外科学	伊藤博 (東京農工大学)	犬末梢血単核球より誘導した樹状細胞と癌細胞の融合細胞における抗腫瘍効果に関する研究
	家畜不妊症防除学	獣医臨床繁殖学	加茂前秀夫 (東京農工大学)	家畜の不妊症の病態解明と新しい診断・治療・予防法の開発
	腫瘍臨床病理学	獣医臨床病理学	町田登 (東京農工大学)	伴侶動物に発生する腫瘍性疾患の疫学と臨床病理
	小動物内科学	獣医内科学	北川均 (岐阜大学)	寄生虫疾患を含む循環器病の病態発生と予防・治療
	獣医寄生虫病学	獣医内科学	鬼頭克也 (岐阜大学)	動物の寄生虫性疾患及び血液病の病態解明並びに診断・治療・予防法の開発
	臨床腫瘍学	獣医外科学	丸尾幸嗣 (岐阜大学)	伴侶動物における腫瘍疾患の病態解明と新規治療法の開発
	臨床繁殖学	獣医臨床繁殖学	村瀬哲磨 (岐阜大学)	哺乳動物精子の受精機能を調節する機構の解明
	小動物疾病学	獣医内科学	深田恒夫 (岐阜大学)	動物における疾病の発生機序及び防御機構の解明
	小動物外科学	獣医外科学	鷺巣誠 (岐阜大学)	酸化ストレスと肝機能
	獣医免疫学	獣医内科学	前田貞俊 (岐阜大学)	動物の免疫介在性疾患における分子病態の解明
馬内科学	獣医内科学	◇ 帆保誠二 (岐阜大学)	大動物の呼吸器疾患及び感染症の診断, 治療ならびに病態解明	
馬臨床繁殖学	獣医臨床繁殖学	◇ 南保泰雄 (岐阜大学)	雌ウマの生殖内分泌機構の解明	

※国立感染症研究所との連携を示す。

☆国立医薬品食品衛生研究所との連携を示す。

★独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所との連携を示す。

◇日本中央競馬(JRA競走馬総合研究所)との連携を示す。

■平成23年度末定年退職予定者(受験希望者はこちらをご覧ください。)

## II. 入学者選抜要項

本研究科では、獣医学に関する高度な専門知識と優れた応用能力を涵養し、国際的、独創的かつ先駆的な研究を遂行し得る研究者と多様な分野で活躍できる高度技術者を養成することを目標としている。

### 【入学を期待する人物像】

前項の目標を達成するため、本研究科では以下のような人を求めている。

- ・専攻する獣医学分野の基礎学力を有する者
- ・国際語である英語の学力を有する者
- ・課題探求心が旺盛な者
- ・幅広い視野と旺盛な学習意欲を有する者
- ・基本的な社会性及び倫理性が備わっている者

### 1. 募集人員

専攻	募集人員
獣医学	20名

上記の募集人員の他に外国人留学生若干名を受け入れる。

### 2. 出願資格

- (1) 大学における修業年限 6 年の獣医学、医学又は歯学を履修する課程を卒業した者及び平成 24 年 3 月（秋季入学者にあつては平成 23 年 9 月）卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における 18 年の課程を修了した者及び平成 24 年 3 月（秋季入学者にあつては平成 23 年 9 月）修了見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を、我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における 18 年の課程を修了した者
- (4) 文部科学省が指定した者（昭和 30 年文部省告示第 39 号に該当する者）
  - ① 旧大学令（大正 7 年勅令第 388 号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
  - ② 防衛庁設置法（昭和 29 年法律第 164 号）による防衛医科大学校を卒業した者
  - ③ 修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者
  - ④ 前期 2 年及び後期 3 年の課程の区分を設けない博士課程に 2 年以上在学し、30 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた者で、修業年限 6 年の獣医学、大学の医学、歯学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者
  - ⑤ 大学（獣医学、医学又は歯学を履修する課程を除く）を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において 2 年以上

研究に従事した者で、当該研究の成果等により、大学の修業年限 6 年の獣医学、医学、歯学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者

- (5) 大学における獣医学、医学又は歯学を履修する課程に 4 年以上在学し、又は外国において学校教育における 16 年の課程（獣医学、医学又は歯学を履修する課程を含む者に限る）を修了し、所定の単位を特に優れた成績をもって修得した者と本研究科が認めた者
- (6) 個別の入学資格審査により、大学における修業年限 6 年の獣医学、医学又は歯学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者で、24 歳に達した者

対象となる者： 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者や外国大学日本分校、外国人学校の卒業者等
---

- (7) その他(1)に掲げる者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者
- ① 従前の大学における修業年限 4 年の獣医学を履修する課程を卒業した者で、卒業後、獣医学に関連する研究その他の業務に入学時（その年度の 4 月 1 日（秋季入学者にあつては 10 月 1 日）とする）において 2 年以上従事していること。
- ② a) その他大学における修業年限 6 年の獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者
- b) 著書、学術論文、学術報告等により修士論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有すると本研究科が認めた者

\* (4)－④、(4)－⑤、(5)及び(7)に該当する場合は、出願に先立ち、本要項の 12 頁の 11. による出願資格の認定を受けること。また、(6)に該当する場合も本要項の 12 頁の 12. による入学資格の認定を受けること。

### 3. 出願期間

出 願 期 間	
第 1 次・秋季入学	平成 23 年 7 月 12 日（火）～7 月 22 日（金）まで（必着）
第 2 次	平成 24 年 1 月 4 日（水）～1 月 11 日（水）まで（必着）

\* 出願書類は、持参又は郵送とし、持参の場合の受付は土、日、休日を除き午前 9 時から午後 4 時 30 分までとする。

### 4. 出願手続

出願にあたっては次の出願書類及び検定料を添えて手続きをし、受験票の交付を受けること。郵送による出願の場合は、本研究科所定の封筒を使用し、必ず「書留速達」とすること。

## (1) 出願書類及び検定料

①	入学願書	本研究科所定の用紙（別紙連獣研様式第1号） 出願者は別表を参照して連合講座と教育研究指導分野の1つを選んで出願すること。
②	履歴書	本研究科所定の用紙（別紙連獣研様式第2号）
③	修業年限6年の学科（学部）卒業（見込）証明書又は修士課程修了（見込）証明書	
④	成績証明書	a. 出身大学の学部のもの
		b. 出身大学院の研究科のもの
*修業年限6年の学科（学部）卒業生については、aのみとする。		
⑤	写真 2枚	出願前3か月以内に撮影したものを入学願書及び受験票に貼付する。上半身、脱帽、正面向き、縦6cm×横4.5cmのもの。
⑥	卒業論文又は修士論文等の概要 5部 正 1部 副（コピー可）4部	A4判の用紙を使用して和文の場合は2,000字程度、英文の場合は1,200語程度で記載し、本研究科所定の表紙（別紙連獣研様式第3号）をつける。ただし、卒業論文を課されていない者については、職場等におけるこれまでの研究経過報告書を提出すること。なお、これらのいずれも提出することが不可能なものは、本研究科に出願するに至った経緯を1,000字以内にまとめて提出する。
⑦	研究計画書 5部 正 1部 副（コピー可）4部	A4判の用紙を使用して和文の場合は1,000字程度、英文の場合は600語程度で入学後に希望する研究内容を具体的に記載し、本研究科所定の表紙（別紙連獣研様式第4号）をつける。
⑧	受験承諾書	本研究科所定の用紙（別紙連獣研様式第5号） 官公庁又は会社等に在職している者は、所属長又は代表者の受験承諾書を提出すること。
⑨	外国人登録済証明書等	外国人出願者は、在留資格を記載した外国人登録済証明書又は入国査証の写しを提出すること。
⑩	返信用封筒	住所、あて名、郵便番号を明記し、380円切手を貼った定形型封筒（縦20.5cm×横9.0cm）
⑪	検定料	30,000円
		別紙所定用紙で銀行振り込みし、その納入書を提出すること。 ※日本国政府から奨学金を支給されている外国人留学生は免除されるので、国費外国人留学生証明書を提出すること。
⑫	電算処理原票	

## (2) 提出先

岐阜大学大学院連合獣医学研究科 連合獣医学係

## 5. 肢体不自由者等の事前相談について

本研究科に入学を志願する者で、障害（次表参照）がある場合は、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とすることがありますので、あらかじめ本研究科と相談してください。

区 分	障 害 の 程 度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね 0.3 未満又は視力以外の障害が高度なもので、拡大鏡等を使用して文字等を認識することが不可能又は著しく困難な程度のも
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のもので、補聴器等を使用しても通常の話し声を理解することが不可能又は著しく困難な程度のも
肢体不自由者	1. 肢体不自由の状態が、補装具を使用しても歩行等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のも 2. 前号の程度未満で、常時の医学的な観察指導を必要とする程度のも
病弱者 「身体虚弱者を含む」	1. 疾患の状態（慢性の呼吸器系疾患等）が、継続して医療又は生活規制を必要とする程度のも 2. 身体虚弱の状態が、継続して生活規制を必要とする程度のも

\* 学校教育法施行第 22 条の 3 の規程に準拠した。

### (1) 相談時期

相談の内容によっては、対応に時間がかかり、特別措置が講じられないこともありますので、出願期間が始まる数日前までに相談してください。

### (2) 相談方法

下記事項を記載した書類（様式任意）を提出願います。

- ① 志望の専攻名， 連合講座名， 主指導教員予定者名
- ② 出身大学， 学部， 学科等の名称
- ③ 障害の種類・程度（医師の診断書が必要な場合があります）
- ④ 受験上特別な配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上特別な配慮を希望する事項
- ⑥ 出身大学でとられていた特別措置
- ⑦ 日常生活の状況

### (3) 相談先

岐阜大学大学院連合獣医学研究科 連合獣医学係

## 6. 岐阜大学大学院連合獣医学研究科入学試験選抜概要（過去5年間）

獣医学専攻

	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
平成22年度(秋季)	若干人	10 (2)	10 (2)	9 (2)	9 (2)
平成22年度	20	30 (8)	30 (8)	26 (8)	23 (7)
平成21年度(秋季)	若干人	9 (4)	9 (4)	9 (4)	9 (4)
平成21年度	15	30 (2)	30 (2)	22 (2)	21 (2)
平成20年度(秋季)	若干人	9 (4)	9 (4)	8 (4)	7 (3)
平成20年度	15	35 (6)	32 (6)	28 (6)	28 (6)
平成19年度(秋季)	若干人	2 (1)	2 (1)	1 (0)	1 (0)
平成19年度	15	38 (6)	37 (6)	34 (6)	34 (6)
平成18年度(秋季)	若干人	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)
平成18年度	15	26 (6)	25 (6)	24 (5)	23 (5)

\* ( ) 書きは、外国人留学生で内数

## 7. 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査及び成績証明書の結果を総合して行う。

学力検査

### ① 筆記試験

ア.外国語：英語

イ.専門科目：出願した教育研究指導分野の専門試験科目（4、5頁の別表参照）

### ② 口頭試問

卒業論文（又は修士論文）、研究計画書等の内容を中心に行う。口頭試問の時間は一人につき約30分程度とする。最初の10分は受験生の卒業論文（又は修士論文）、研究計画等の説明に当て、その後質疑に入る。

※ 液晶プロジェクターを用いてのプレゼンを行う。（パソコンは持参可）

## 8. 試験の日時及び場所

日 時		試験科目		試験時間	場所
第1次 秋季入学	平成23年 9月8日(木)	筆記 試験	外国語	9:00~10:30	岐阜大学大学院 連合獣医学研究科
			専門科目	11:00~12:30	
		口頭試問		13:30~	
第2次	平成24年 2月16日(木)	筆記 試験	外国語	9:00~10:30	岐阜大学大学院 連合獣医学研究科
			専門科目	11:00~12:30	
		口頭試問		13:30~	

## 9. 合格発表

第 1 次 秋季入学	平成 23 年 9 月 13 日 (火)	正午頃	岐阜大学大学院連合獣医学研究科，帯広畜産大学畜産学部，岩手大学及び東京農工大学農学部及び岐阜大学大学院連合獣医学研究科ホームページ上で掲示するとともに，合格者には「合格通知書」を送付する。
第 2 次	平成 24 年 2 月 27 日 (月)	正午頃	

岐阜大学大学院連合獣医学研究科ホームページ

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~ugvphdhp/>

## 10. 入学手続

### (1) 入学手続き期間

秋季入学合格者：平成 23 年 9 月 13 日 (火) から 9 月 22 日 (木) までとする。

第 1 次・第 2 次合格者：平成 24 年 3 月上旬に必要な書類を郵送し，手続き期間を連絡します。

受付時間は，土，日，祭日を除き 9 時から 16 時 30 分まで。

郵送の場合は，指定した期日までに「書留速達」で手続きを行うものとする。ただし，秋季入学合格者にあつては，平成 23 年 9 月 22 日 (木) (17 時) までに必着のこと。

### (2) 入学に要する経費

① 入学料 282,000 円 (予定額)

② 授業料 267,900 円 (年額 535,800 円) (予定額)

在学中に授業料の改定が行われた場合には，改定時から新授業料を適用するスライド制が適用されます。

なお，日本国政府から給与が支給されている国費外国人留学生は入学料，授業料とも免除されます。

\*前期分の授業料は平成 23 年 5 月に口座振替にて納入する。詳細については，合格者あてに別途通知する。

## 11. 出願資格の認定について

- (1) 本要項 2 の 7 頁の\*に基づく出願資格の認定は、次の提出書類及び面接試験により行う。ただし、提出書類の審査によって出願資格が認定された場合は、面接試験は行わない。
- (2) 提出書類

①	入学試験出願資格認定申請書	本研究科所定の用紙（別紙連獣研様式第 6 号）
②	成績証明書	a. 出身大学の学部のもの b. 出身大学院の研究科のもの
③	履歴書	本研究科所定の用紙（別紙連獣研様式第 2 号）
④	研究歴証明書	本研究科所定の用紙（別紙連獣研様式第 7 号）
⑤	研究業績書 5 部 正 1 部 副（コピー可）4 部	A4 判の用紙を使用して和文の場合は 1,000 字程度、英文の場合は 600 語程度でこれまでの研究業績内容の要約を記載する。なお、これを提出することが不可能な者は、本研究科に出願するに至った経緯を 1,000 字以内にまとめて提出すること。本研究科所定の表紙（別紙連獣研様式第 8 号）をつける。
⑥	研究成果資料 1 部	研究業績書の内容を裏付ける研究論文及びその他の研究業績を示す資料があれば添付すること。

- (3) 提出期間

提出期間	
第 1 次・秋季入学	平成 23 年 6 月 27 日（月）～ 7 月 6 日（水）まで（必着）
第 2 次	平成 23 年 11 月 21 日（月）～11 月 30 日（水）まで（必着）

- (4) 提出先

岐阜大学大学院連合獣医学研究科 連合獣医学係

- (5) 面接試験の日時は、別途通知する。

- (6) 審査結果の通知

第 1 次・秋季入学	平成 23 年 7 月 19 日（火）頃本人あてに通知する。
第 2 次	平成 23 年 12 月 13 日（火）頃本人あてに通知する。

## 12. 入学資格の認定について

7 頁「2.出願資格(6)」に該当する者の認定は、次の提出書類及びこれまでの研究内容等を中心とした口頭試問に基づいて認定する。

提出書類

- ① 入学資格審査申請書（本研究科所定の用紙）
- ② 上記①の他に、12 頁の(2)の提出書類②～⑥に掲げる書類  
提出期間等については、12 頁の(3)～(6)の記載に準ずる。

**13. 注意事項**（願書提出にあたっては、下記事項をよく読むこと。）

- (1) 出願にあたっては、事前に入学を希望する教育研究指導分野の主指導教員（予定者）と相談すること。
- (2) 出願書類は日本語で記載することを原則とする。
- (3) 受理した出願書類及び検定料は返還しない。
- (4) 出願書類提出後は、記載事項の変更は認めない。
- (5) 出願資格認定審査又は、入学資格審査を必要とする者にあつては、資格認定のための提出書類に加え、出願書類も同時に提出すること。ただし、出願資格を認定するまでは、出願書類は一時預かることとし、出願資格の認定後に書類を受理する。
- (6) 出願に関し不明点がある場合は、本学大学院連合獣医学研究科 連合獣医学係に照会すること。なお、郵便で照会する場合は、住所、あて名、郵便番号を明記し、郵便切手を貼った返信用封筒を必ず同封すること。
- (7) 入学手続きは、指定された期間内に完了しない場合、入学を認めない。

**14. 個人情報の取扱いについて**

この出願書類に記載された氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、願書に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格発表、合格された場合の入学手続き関係書類の送付等のために利用し、その他の目的には利用しない。

平成 23 年 6 月

岐阜大学大学院連合獣医学研究科 連合獣医学係  
〒501-1193 岐阜市柳戸 1 番 1

電話(058)293-2987・2988

FAX(058)293-2992

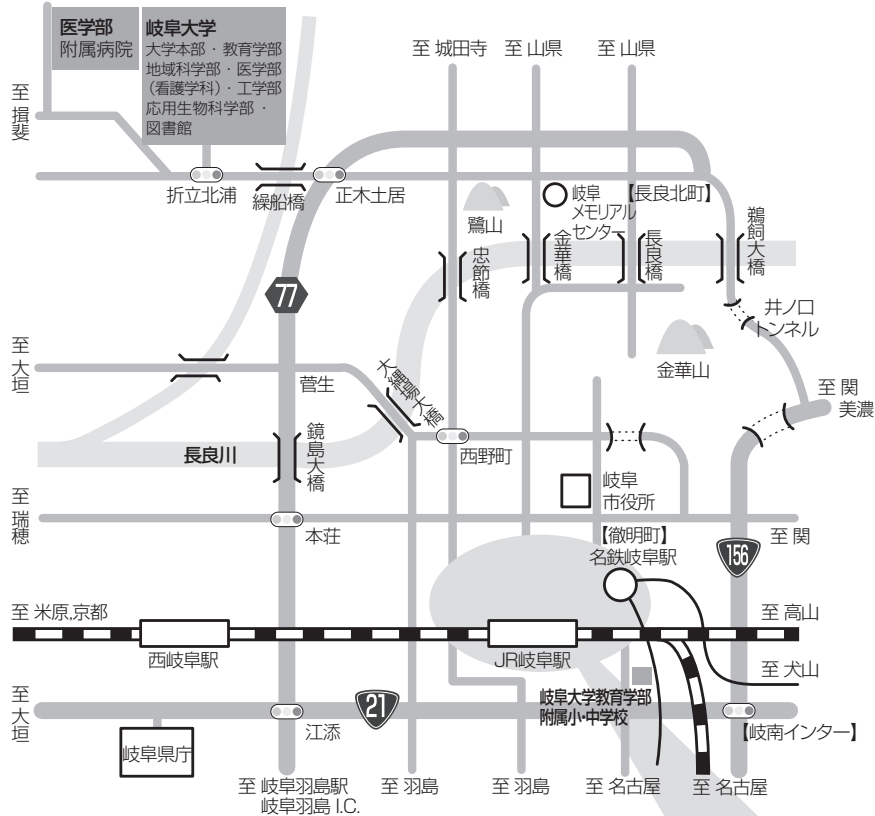
E-mail: renju@gifu-u.ac.jp

岐阜大学大学院連合獣医学研究科ホームページ

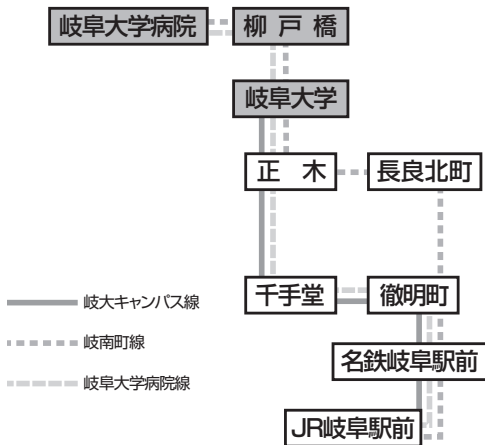
<http://www1.gifu-u.ac.jp/~ugvphdhp/>

# 試験場への案内

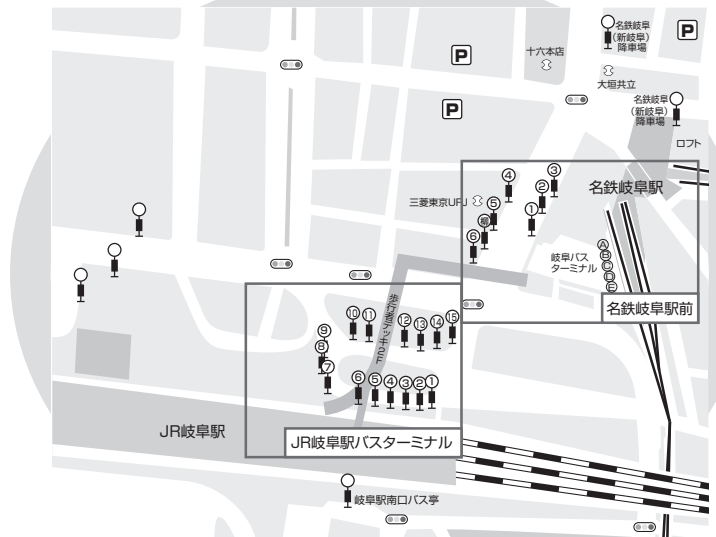
試験場名	バスのりば		路線名	行先	系統No.	所要時間
	JR岐阜駅	名鉄岐阜駅				
岐阜大学大学院 連合獣医学研究科	バス ターミナル⑨	のりば ⑤	岐阜大学・病院線 (忠節橋経由)	岐阜大学病院	C70	30分
		のりば E	岐阜大学・病院線 (直行・岐大ライナー)	岐阜大学	C60	25分
		のりば ④	岐南町線(長良北町経由)	岐阜大学病院	N45	35分



## ▼ バス路線図



## ▼ JR岐阜駅前・名鉄岐阜駅前周辺



## **UGSVS Charter**

Through the cooperation of the veterinary medicine faculty at four universities – Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine, Iwate University, Tokyo University of Agriculture and Technology, and Gifu University – and four research institutes, the United Graduate School of Veterinary Sciences (UGSVS) strives to nurture researchers and advanced technical personnel who combine high-level expertise with broad perspectives. The UGSVS offers students readily expandable and applicable education and research experiences beyond what can be expected of single institutions. It strives to contribute to veterinary science and related disciplines and to the overall healthy development of 21st century society.

To these ends, the UGSVS strives to accomplish the following:

1. Fully utilize educational and research resources of all four member universities and four collaborative institutions.
2. Cultivate broad perspectives and high ethical standards in addition to outstanding professional ability.
3. Pioneer original research and gain international esteem as a center for research and education.
4. Release and apply research results to activities for the betterment of society.
5. Foster international exchange through the instruction of international students.
6. Support faculty cooperation and efficient administration.
7. Constantly review, assess, and improve graduate programs and overall course management.

# **I. Outline of the UGSVS Doctoral Program**

## **1. Vision**

UGSVS offers a four-year doctoral course established through the collaboration of four universities with graduate programs in veterinary medicine: Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine, Iwate University, Tokyo University of Agriculture and Technology, and Gifu University. There is one course discipline divided into four specialized major tracks. (See next page.)

The UGSVS strives to train outstanding researchers and flexible technologists with the expertise and practical skills to conduct pioneering research, work in diverse areas of society, and contribute to the progress of veterinary sciences and related industries.

The UGSVS strives to promote international cooperation and respond to international veterinary needs. International students are welcome.

## **2. Features of the UGSVS**

The individual histories, locations, and features of the four member universities afford the UGSVS a uniquely diverse program of education and research. Further alliances with the National Institute of Infectious Diseases (2001), National Institute of Health Sciences (2003), National Institute of Animal Health (2004), and Japan Racing Association Equine Research Institute (2009) allow students access to research opportunities in state-of-the-art facilities and instruction from research experts. This enables the UGSVS to offer students a liberal selection of research areas, and to train them to respond flexibly to the needs of society.

### **Course Plan**

- (1) Applicants choose a research field from within four major tracks of study: Basic Veterinary Science, Pathogenetic Veterinary Science, Applied Veterinary Science, or Clinical Veterinary Science.
- (2) Students are assigned two assistant academic advisors in addition to a main academic advisor to guide them in developing their research.
- (3) Students base their studies at the institution of their main academic advisor, but enjoy use of facilities at all UGSVS-affiliated institutes.
- (4) Upon successful completion of approved coursework and research, students are awarded the Degree of Doctor of Veterinary Sciences (PhD). Requirements include at least thirty credits (semester hours) of required subjects, presentation of an original thesis, and examinations of proficiency.
- (5) The course is designed to span four years, but may be shortened to three for students who complete all requirements and exhibit exceptional performance.

### 3. Description of Major Tracks

Course	Major Track	Outline
Veterinary Science	Basic Veterinary Science	Students in this field are trained to become outstanding researchers who will contribute to the advancement of veterinary sciences. Students learn morphology and functions in vertebrates, particularly mammals and birds, and master the fundamentals of pathogenetic, applied, and clinical veterinary sciences. They examine life-science mechanisms from the viewpoint of comparative biology and gain solid experience with many animal species.
	Pathogenetic Veterinary Science	This field integrates fundamentals of anatomy and physiology with knowledge of applied and clinical veterinary sciences to study structures and functions in health and disease. Goals in this field include elucidation of disease mechanisms and prevention of disease. Accordingly, education and research in this field is divided into two areas, pharmacology and pathology.
	Applied Veterinary Science	This field strives to understand the relationships among organisms, etiologies, and the environment, which determine the outbreak of diseases. It includes comprehensive study and analysis at molecular, individual, and population levels. Students apply this knowledge to research animal health and welfare, food safety, productivity by prevention of communicable diseases, control of zoonoses, and preservation of the environment.
	Clinical Veterinary Science	This field aims to elucidate etiologies, mechanisms, and pathophysiology of disease. Knowledge of basic, pathogenetic, and applied veterinary sciences is used to develop cutting-edge techniques for diagnosis, therapy, and prophylaxis of diseases in aquatic, farm, companion, and laboratory animals. Students partake in training and investigations into topics such as metabolic and reproductive diseases in farm animals and developmental biotechnologies including embryo transfer.

## List of Research Fields

Major Track	Research Field	Subject	Main Academic Adviser (University)	Research Focus
Basic Veterinary Science	Comparative Histology	Veterinary Anatomy	Nobuo Kitamura (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Comparative histology of the digestive system and autonomic regulatory system
	Functional Genomics	Experimental Animals	Hiroshi Suzuki (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Analysis of gene function in vivo by transgenic technology and development of reproductive bio-technology
	Preventive Medicine for Protozoan Diseases	Veterinary Parasitology	Shin-ichiro Kawazu (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Development of novel vaccines and therapeutic approaches based on functional analysis of the protozoan genome and proteins
	Neuroanatomy	Veterinary Anatomy	Kazuyuki Taniguchi (Iwate University)	Comparative anatomy of the central nervous system and sensory organs in vertebrates
	Veterinary Biochemistry and Cell Biology	Veterinary Physiology	Yoshio Yamamoto (Iwate University)	Morphofunctional analysis of the sensory receptors
	Molecular Cell Physiology	Veterinary Physiology	Kazuyoshi Hashizume (Iwate University)	Veterinary physiology with a focus on the sepcific genes in cell proliferation and differentiation
	Comparative Anatomy	Veterinary Anatomy	■ Naotoshi Kanda (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Molecular organization of mammalian chromosomes
	Reproductive Physiology	Veterinary Physiology	Kazuyoshi Taya (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Comparative physiology with a focus on the mechanism of hormone secretion and action in mammalian reproduction
		Veterinary Physiology	Gen Watanabe (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Comparative physiology in the regulation of reproductive hormones
Neurophysiology	Veterinary Physiology	Yasutake Shimizu (Gifu University)	The regulatory mechanism of gastrointestinal motility	
Brain Morphology	Veterinary Anatomy	Yasuro Atoji (Gifu University)	Comparative anatomy of the mammalian and avian nervous systems	
Pathogenetic Veterinary Science	Neuropharmacology	Veterinary Pharmacology	Toshiaki Ishii (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Molecular basis of physiological and pathological manifestations in the cerebral nervous system
	Pathobiological Science	Veterinary Pathology	Hidehumi Furuoka (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	The pathology of neuromuscular disorders and the pathology of infectious diseases (e.g. , animal prion diseases, Lawsonia infection)
	Pharmaceutical Toxicology	Veterinary Pharmacology	Furuhama Kazuhisa (Iwate University)	Analysis of adverse reactions to pharmaceuticals
	Veterinary Parasitology	Veterinary Parasitology	Tadashi Itagaki (Iwate University)	Morphology, taxonomy, epidemiology, biology and molecular phylogeny of parasites
	Cellular Pathology	Veterinary Pathology	Masanobu Goryo (Iwate University)	The histopathology of infectious diseases in animals
	Clinical Pharmacology	Veterinary Pharmacology	Minoru Shimoda (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Ideal pharmacological therapy based on the pharmacokinetics in livestock animals
	Toxicologic Pathology	Veterinary Pathology	Kunitoshi Mitsumori (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Molecular pathological studies on chemical-induced toxicity and carcinogenesis
	Pharmacology for Endogenous Substances	Veterinary Pharmacology	Toshihiro Unno (Gifu University)	Signal transduction mechanisms of drug receptors in smooth muscles
Comparative Pathology	Veterinary Pathology	Tokuma Yanai (Gifu University)	Comparative pathology and pathogenetic analysis of various diseases	
Applied Veterinary Science	Applied Molecular Biology	Veterinary Public Health	■ Koichi Takeshi (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Veterinary food hygiene management
	Protein Toxicology	Veterinary Microbiology	Hisao Kurazono (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	The role of protein toxins in bacterial infection
	Pathogenic Microbiology	Veterinary Microbiology	Ryo Harasawa (Iwate University)	Infectious control against mycoplasma and pestivirus
	Microbial Foodborne Diseases	Veterinary Microbiology	Katsuhiko Omoe (Iwate University)	Molecular biology for microbial toxins
	Epizootiology	Epizootiology	Junsuke Shirai (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Epidemic control of infectious diseases in animals
	Food Safety Management	Veterinary Public Health	Hiroshi Fujikawa (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Growth behavior of microorganisms in food
	Animal Health	Animal Health	Kazuaki Takehara (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Control of animal infectious diseases
	Molecular Infectious Diseases	Veterinary Microbiology	Hideto Fukushi (Gifu University)	Pathogenicity of obligate intracellular parasites
	Molecular Diagnosis	Veterinary Public Health	Naotaka Ishiguro (Gifu University)	Molecular interpretation, causative investigation and diagnosis of diseases
	Zoonotic Diseases	Veterinary Public Health	Makoto Sugiyama (Gifu University)	The mechanism and control of viral zoonoses
Wildlife Management	Wild Animal Medicine	Masatsugu Suzuki (Gifu University)	Biology, physiology and morphology of wildlife animals	

Major Track	Research Field	Subject	Main Academic Adviser (University)	Research Focus
Applied Veterinary Science	Emerging Infectious Diseases	Veterinary Microbiology	※ Haruo Watanabe (Gifu University)	Epidemiology, diagnosis and prevention of emerging zoonoses
	Re-Emerging Infectious Diseases	Veterinary Microbiology	※ Akio Yamada (Gifu University)	Epidemiology, diagnosis and prevention of reemerging zoonoses
	Emerging Virus Infectious Diseases	Veterinary Microbiology	※ Shigeru Morikawa (Gifu University)	Epidemiology, diagnosis and prevention of serious zoonoses including viral hemorrhagic fevers
	Food Hygiene	Veterinary Public Health	☆ Shigeki Yamamoto (Gifu University)	Epidemiology and prevention of food poisoning
	Food Microbiology	Veterinary Public Health	☆ Shizunobu Igimi (Gifu University)	Test methods, health hazard and control of food microorganism
	Hazard Analysis in Food Sciences	Veterinary Public Health	☆ Yoshiko Konishi (Gifu University)	Toxicology and control on mycotoxin
	Veterinary Microbiology	Veterinary Microbiology	★ Takehiko Saito (Gifu University)	Epidemiology and pathogenesis of zoonotic diseases
	Animal Health	Veterinary Microbiology	★ Hiroshi Tsunemitsu (Gifu University)	Diagnosis, epidemiology and prevention of economically-damaging viral diseases in livestock animals
		Animal Health	★ Yuichi Murayama (Gifu University)	Development of sensitive detection system of prions
Clinical Veterinary Microbiology	Veterinary Microbiology	★ Ikuo Uchida (Gifu University)	Molecular epidemiology of bovine salmonellosis	
Clinical Veterinary Science	Large Animal Internal Medicine	Veterinary Internal Medicine	Hisashi Inokuma (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Diagnosis and treatment of large animal internal medicine
	Large Animal Surgery	Veterinary Surgery	Terumasa Shimada (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Association among clinical condition, surgical invasion and immune response in animal diseases
	Veterinary Clinical Radiology	Veterinary Radiology	Kazutaka Yamada (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Cross-sectional images on veterinary clinics
	Veterinary Clinical Pathology	Veterinary Clinical Pathology	Kazuro Miyahara (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Clinical pathology and image diagnosis of livestock animal diseases
	Metabolic Disease	Veterinary Internal Medicine	Shigeru Sato (Iwate University)	Pathophysiology and prevention of periparturient diseases in dairy cows
	Food Animal Medicine and Pathobiology	Veterinary Surgery	Norio Yamagishi (Iwate University)	Diagnosis, treatment and prevention of animal diseases
	Small Animal Internal Medicine and Pathophysiology	Veterinary Internal Medicine	Reeko Sato (Iwate University)	Pathophysiological analysis of immunodeficiency diseases and development of novel immunostimulatory therapy
	Controlled Reproduction	Veterinary Clinical Reproduction	Yoshiaki Izaike (Iwate University)	Recovery of postpartum reproductive function and pregnancy rate in livestock animals
	Veterinary Clinical Diagnosis	Veterinary Internal Medicine	Jun Yasuda (Iwate University)	Veterinary clinical laboratory diagnosis for pathological elucidation
	Small Animal Veterinary Radiology and Surgery	Veterinary Surgery	Yuji Uzuka (Iwate University)	Diagnosis and treatment in veterinary small animal surgery
	Veterinary Dermatology	Veterinary Internal Medicine	Toshiroh Iwasaki (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Dermatological diseases in animals: the etiology and new therapeutic approaches
	Tumor Immunology	Veterinary Surgery	Hiroshi Ito (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Antitumor effects of peripheral blood monocyte-derived dendritic cells fused with cancer cells in dogs
	Reproductive Disorders and its Therapy in Domestic Animals	Veterinary Clinical Reproduction	Hideo Kamomae (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Clinical pathology and diagnosis, treatment and prevention of infertility in livestock animals
	Oncological Clinicopathology	Veterinary Clinical Pathology	Noboru Machida (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Epidemiology and clinical pathology of neoplastic diseases in companion animals
	Small Animal Internal Medicine	Veterinary Internal Medicine	Hitoshi Kitagawa (Gifu University)	Etiology, prevention and treatment of cardiovascular disorders including parasitic diseases
	Veterinary Parasitology	Veterinary Internal Medicine	Katsuya Kitoh (Gifu University)	Pathology, diagnosis, treatment and prevention of parasitic and hematological diseases in animals
	Veterinary Clinical Oncology	Veterinary Surgery	Kohji Maruo (Gifu University)	Pathophysiology and novel therapeutic approaches to neoplastic diseases in companion animals
	Theriogenology	Theriogenology	Tetsuma Murase (Gifu University)	Studies of mechanisms regulating the fertilizing functions in mammalian spermatozoa
	Small Animal Diseases	Veterinary Internal Medicine	Tsuneo Fukada (Gifu University)	Etiology and phylaxiology in animal diseases
	Small Animal Surgery	Veterinary Surgery	Makoto Washizu (Gifu University)	Oxidation stress on hepatic function
Veterinary Immunology	Veterinary Internal Medicine	Sadatoshi Maeda (Gifu University)	Studies on molecular pathogenesis of immune-mediated diseases in animals	
Equine Internal Medicine	Veterinary Internal Medicine	◇ Seiji Hobo (Gifu University)	Diagnosis, treatment and etiology of respiratory disorders and infectious diseases on large animals	
Equine Reproduction	Veterinary Reproduction	◇ Yasuo Nambo (Gifu University)	Reproductive endocrinology in mare	

※ indicates association with National Institute of Infectious Diseases

☆ indicates association with National Institute of Health Sciences

★ indicates association with National Institute of Animal Health

◇ indicates association with Japan Racing Association (JRA Equine Research Institute)

■ indicates those who are to retire in March, 2012 ( Please contact UGSVS if you wish to apply.)

## II. Admission Policy

The UGSVS strives to impart students with sophisticated knowledge and practical ability in veterinary medicine. The UGSVS aims to cultivate outstanding researchers and professionals with the ingenuity to conduct pioneering research and the skills to lead the national and international community in a wide range of fields.

### [Ideal Applicants]

Accordingly, desirable applicants possess the followings:

- Overall academic achievement with a focus in veterinary medicine
- English-language ability for international communication
- An inquisitive nature and great interest in research subjects.
- A broad outlook and fervent desire to learn
- A solid ethical foundation and desire to contribute to society.

### 1. Number of Students to Be Admitted

Discipline	Students to Be Admitted
Veterinary Medicine	20

A small number of additional international applicants will also be accepted.

### 2. Application Eligibility

- (1) Completion of a six-year curriculum in veterinary medicine, medicine, or dentistry at a Japanese university by March 2012 (September 2011 for fall admission).
- (2) Completion of 18 years of formal education at schools outside Japan by March 2012 (or September 2011 for fall admission).
- (3) Completion of 18 years of formal education through distance learning programs offered within Japan by schools based outside Japan.
- (4) Identification by the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (according to the Ministry of Education 1955 Notification No. 39):
  - 1) Those who majored in medicine or dentistry and graduated from a medical or a dental university stipulated by Japan's former University Law (Imperial Ordinance No. 388 issued in 1918).
  - 2) Those who graduated from the National Defense Medical College stipulated by Japan's Defense Agency Establishment Act (Law No. 164 issued in 1954).
  - 3) Those who have completed master's degree program or can otherwise be conferred a master's degree.
  - 4) Those who have completed at least 2 years of a doctorate program that is not divided into a 2-year first phase and 3-year second phase. They should have obtained at least 30 academic credits, necessary research instruction, and be recognized by the UGSVS as possessing academic ability equivalent to 6 years of education in a curriculum of veterinary medicine, medicine, or dentistry at a Japanese university\*.
  - 5) Those who have a university degree (other than veterinary medicine, medicine, or dentistry), or have completed 16 years of education at a school outside Japan; and after that have at least 2 years of research experience at a university or a research institute, and are recognized by the UGSVS as possessing academic ability equivalent to 6 years of education in a curriculum of veterinary medicine, medicine, or dentistry at a Japanese university\*.

- (5) Completion of a curriculum of at least 4 years in veterinary medicine, medicine, or dentistry at a Japanese university, or completion of 16 years of formal education at a foreign school including a curriculum in veterinary medicine, medicine, or dentistry; and an outstanding academic record as recognized by the UGSVS\*.
- (6) Applicants who are at least 24 years old and are recognized by UGSVS through an individual qualification review as possessing academic ability equivalent to 6 years of education in veterinary medicine, medicine, or dentistry at a Japanese university\*\*.

Examples: Graduates of junior colleges, technical or vocational schools, Japanese branches of foreign universities, international schools in Japan, or various other schools.

- (7) Recognition by the UGSVS as possessing academic ability equivalent to (1)\*:
  - 1) Those who have completed 4 years of veterinary education under Japan's former university system and have at least 2 years of experience in veterinary research or other relevant work at the time of enrollment (April 1<sup>st</sup> for spring admission and October 1<sup>st</sup> for fall admission)
  - 2) Those who are recognized by the UGSVS either as a) possessing academic ability equivalent to 6 years of education in a curriculum of veterinary medicine, medicine, or dentistry at a Japanese university, or b) research achievements equivalent to a master's degree, *e.g.*, by book, thesis, or academic paper publications.

\*Applicants who fall into categories (4)-4), (4)-5), (5) and (7) should apply for recognition of application eligibility before applying to the program (see page 26, Section 11).

\*\*Applicants who fall into category (6) should apply for recognition of admission eligibility before applying to the program (see page 27, Section 12).

### 3. Application Period

Application Period	
First Round & Fall Admissions	Tuesday, July 12, 2011 – Friday, July 22, 2011 (to be received no later than this date)
Second Round Admission	Wednesday, January 4, 2012 – Wednesday, January 11, 2012 (to be received no later than this date)

\*Application documents should be submitted in person or mailed. The admission office is open 9:00 am – 4:30 pm, Monday through Friday (except for holidays) for submission.

### 4. Application Procedure

Submit the following application documents with the application fee. An examination ticket will be issued on submission. If submitting by mail, the applicant must send the documents by registered express mail in an envelope specified by the UGSVS.

(1) Application documents and application fee

i)	Program application form	The official UGSVS application form (Form 1, enclosed) Select a major track and a research field within the selected track.
ii)	Curriculum vitae	The curriculum vitae form (Form 2, enclosed)
iii)	Academic credentials	If you have attended a 6-year university program in Japan, submit an official certificate of graduation or statement of graduation eligibility status for a bachelor's degree or a master's degree.
iv)	Academic transcripts	a) an official transcript from the applicant's undergraduate school(s). b) an official transcript from the applicant's graduate school(s). *If you have graduated or are graduating from a 6-year university program in Japan, submission of a) only is satisfactory.
v)	Photograph 2 copies	Two photographs taken within three months before application. Attach one photo to Form 1. The other is to be attached to the examination ticket. The photos must be 6 cm tall by 4.5 cm wide and show from head to shoulders, facing forward with no hat.
vi)	Summary of undergraduate thesis/ master's thesis 5 copies (1 official copy & 4 photocopies)	A summary of the applicant's undergraduate thesis or master's thesis on A4-size paper (about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English) with a cover page (Form 3, enclosed). If no undergraduate thesis was required, submit a summary of your research work experience. If neither of these is possible, submit a statement of your purpose for applying to the program in 1,000 Japanese characters or less.
vii)	Research proposal 5 copies (1 official copy & 4 photocopies)	A written proposal for research to be conducted at the UGSVS. The proposal must be on A4-size paper, with a cover page (Form 4, enclosed), and should be about 1,000 characters in Japanese or 600 words in English.
viii)	Permission for application	If you are currently employed at a government agency or company, submit a statement of permission for application (Form 5, enclosed) signed by the departmental/institutional director.
ix)	Alien registration certificate on reregistered matters	International applicants must submit either an alien registration certificate on registered matters or a copy of their visa showing residence status.
x)	Return envelope	A self-addressed envelope (including the applicant's name, address, and zip code), stamped (380 yen) and 20.5 cm × 9.0 cm in size.
xi)	Application fee	30,000 yen. Send the fee by bank transfer and submit a receipt. * International applicants who are funded by the Japanese government are eligible for a waiver of the application fee. Submit a certificate a government-funded student status.
xii)	Electronic processing card	

(2) Submit the application documents to:

United Graduate School of Veterinary Sciences, Gifu University

## 5. Applicants with Disabilities

Individuals with disabilities (see the categories below) who wish to apply for the program should contact the UGSVS prior to applying so that we can arrange to accommodate the applicant's needs.

Disability	Severity
Visual impairment	A binocular visual acuity of 0.3 or less (in the Japanese system) or other advanced form of visual disability; individuals who cannot read or have difficulty reading even with a magnifying glass
Hearing impairment	Bilateral hearing ability of 60 dB or higher; individuals who cannot hear or have difficulty hearing normal conversation even with a hearing aid
Physical disability	1. Unable to execute or having difficulty executing daily activities, <i>e.g.</i> , walking, even with assistive technology 2. Disability is milder but requires continuous medical observation
Illness (including physical weakness)	1. Medical conditions ( <i>e.g.</i> , chronic respiratory disease) requiring continuous medical care or lifestyle control 2. Physical weakness requiring continuous lifestyle control

\*These criteria are in accordance with Article 22, Paragraph 3 of Japan's School Education Act.

### (1) Preliminary inquiry:

Applicants with disabilities should consult the UGSVS at least several days before the application period for timely arrangements.

### (2) Documents to be submitted:

- i) Desired major track and research field and anticipated main academic advisor.
- ii) Names of the department or course and university from which the applicant graduated (or is expected to graduate).
- iii) Type and severity of the disability. (A doctor's certificate may be required.)
- iv) Description of necessary services at the examination.
- v) Description of necessary services after admission
- vi) Description of services provided by the university from which the applicant graduated (or is expected to graduate).
- vii) Description of daily living conditions.

### (3) Contact:

United Graduate School of Veterinary Sciences, Gifu University

## 6. UGSVS Past 5Years Admission Statistics

Semester/Year	Planned Admissions	Applicants	Exam Attendees	Accepted Students	Enrolling Students
<b>Fall 2010</b>	Some	10(2)	10(2)	9(2)	9(2)
<b>Spring 2010</b>	20	30(8)	30(8)	26(8)	23(7)
<b>Fall 2009</b>	Some	9(4)	9(4)	9(4)	9(4)
<b>Spring 2009</b>	15	30(2)	30(2)	22(2)	21(2)
<b>Fall 2008</b>	Some	9(4)	9(4)	8(4)	7(3)
<b>Spring 2008</b>	15	35 (6)	32 (6)	28 (6)	28 (6)
<b>Fall 2007</b>	Some	2 (1)	2 (1)	1 (0)	1 (0)
<b>Spring 2007</b>	15	38 (6)	37 (6)	34 (6)	34 (6)
<b>Fall 2006</b>	Some	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)
<b>Spring 2006</b>	15	26 (6)	25 (6)	24 (5)	23 (5)

\* Numbers in parentheses represent international applicants (included in the total numbers).

## 7. Examinations

Applicants are accepted for admission into the program based on the results of the following examinations and review of academic records.

Examinations:

### (1) Written Exam

- a. Foreign Language: English
- b. Field Test: Research field proposed in the application. (See attached list on pages 18-19.)

### (2) Oral Examination

The 30-minute oral examination focuses on the applicant's undergraduate thesis (or the master's thesis) and submitted research proposal. During the first ten minutes, the applicant presents his/her undergraduate (or master's) research and UGSVS research proposal. This is followed by questions from the committee. (An LCD projector and Windows computer will be provided, or the applicant can bring his/her own computer.)

## 8. Date and Place of the Examinations

Date		Examination		Time	Place
<b>First Round &amp; Fall Admissions</b>	Thursday, September 8, 2011	Written Exam	English	9:00 – 10:30	UGSVS, Gifu University Campus
			Field Test	11:00 – 12:30	
		Oral Exam		13:30 –	
<b>Second Round Admission</b>	Thursday, February 16, 2012	Written Exam	English	9:00 – 10:30	UGSVS, Gifu University Campus
			Field Test	11:00 – 12:30	
		Oral Exam		13:30 –	

## 9. Announcement of Results

<b>First Round &amp; Fall Admissions</b>	Tuesday, September 13, 2011	Around noon	The application results will be posted on the websites of UGSVS, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine, Iwate University, and Tokyo University of Agriculture and Technology. Successful applicants will receive a letter of acceptance.
<b>Second Round Admission</b>	Monday, February 27, 2012	Around noon	

UGSVS Website: <http://www.gifu-u.ac.jp/english/index.shtml>

## 10. Admission Procedures

### (1) Admission Period

Fall Admission: From Tuesday, September 13, 2011 to Thursday, September 22, 2011.

Spring admission: Dates will be announced and admission forms will be sent to successful applicants in early March, 2012.

Accepted applicants should submit admission forms (see below) between 9:00 am and 4:30 pm, Monday through Friday (except for holidays). Documents submitted by mail should be sent by registered express mail by the end of admission period. For fall admission, the documents should arrive at the UGSVS no later than 5:00 pm, Thursday, September 22, 2011.

### (2) Admission fee and tuition

i) Admission Fee: 282,000 yen (estimated)

ii) Tuition: 267,900 yen/semester (535,800 yen/year) (estimated)

If tuition changes during a student's course of study, the new tuition will be applied on a sliding basis. International students funded by the Japanese government are eligible for admission fee and tuition waivers.

\*Tuition for the first semester should be paid by bank transfer in May, 2012. Further information will be provided to accepted applicants.

## 11. Recognition of Application Eligibility

(1) Recognition of eligibility for applicants who fall into starred (\* or \*\*) categories of Section 2, Application Eligibility, is considered based on the following documents and an interview. If the documents are sufficient for recognition, the interview is unnecessary.

(2) Documents to Be Submitted

i)	Application form for recognition of eligibility	Official UGSVS form (Form 6, enclosed)
ii)	Academic transcripts	a) Official transcripts from the applicant's undergraduate program b) Official transcripts from the applicant's graduate program
iii)	Curriculum vitae	Official form (Form 2, enclosed)
iv)	Statement of research experience	Official form (Form 7, enclosed)
v)	Summary of research achievements 5 copies (1 official copy & 4 photocopies)	A summary of the applicant's research achievements on A4-size paper. It should be about 1,000 characters in Japanese or 600 words in English. If this is not possible, submit a statement of your purpose for applying to the program in 1,000 Japanese characters or less. Attach the official cover page (Form 8, enclosed).
vi)	Supplementary materials to show past research experience 1 copy	If available, attach supplementary materials (e.g., a copy of a thesis or research paper) showing the applicant's research achievements.

(3) Application deadline

<b>Application Period</b>	
<b>First Round &amp; Fall Admissions</b>	Monday, June 27, 2011 – Wednesday, July 6, 2011 (to be received no later than this date)
<b>Second Round Admission</b>	Monday, November 21, 2011– Wednesday, November 30, 2011 (to be received no later than this date)

(4) Submit the application documents to:

United Graduate School of Veterinary Sciences, Gifu University

(5) Applicants will be given a separate notice for the interview date.

(6) Announcement of results

<b>First Round &amp; Fall Admissions</b>	Applicants will be notified around Tuesday, July 19, 2011.
<b>Second Round Admission</b>	Applicants will be notified around Tuesday, December 13, 2011.

## 12. Recognition of Admission Eligibility

Applicants who fall into category (6) in Section 2, Application Eligibility, on page 21 will be considered for admission based on the following submitted documents and an oral examination focusing on prior research experience.

Documents to be submitted:

i) Admission eligibility application form (official UGSVS form)

ii) Documents ii) - vi) listed in (2) Documents to Be Submitted, of Section 11, on page 26

The application deadline and other details are the same as (3) - (6) of Section 11, Recognition of Application Eligibility, on pages 26.

## 13. Notes

All applicants should read the following notes carefully.

- (1) Prior to application, consult with your anticipated main academic advisor in your desired research field.
- (2) As a general rule, application forms should be completed in Japanese.
- (3) Submitted application documents will not be returned, and application fee will not be refunded.
- (4) Once application documents are submitted, changes to their content will not be accepted.
- (5) Applicants who need to apply for recognition of application eligibility or admission eligibility must submit admission application forms in addition to the recognition application documents. These should be submitted together; however, the admission application will be considered pending recognition of eligibility.
- (6) For further questions, contact the UGSVS Office. If sending questions by mail, enclose a self-addressed (include the applicant's name, address, and zip code), stamped return envelope.
- (7) If admission forms are not submitted by the deadline, admission to the program will be canceled.

## 14. Personal Information Protection Policy

Personal information contained on application documents, such as names and addresses, will be used only for administrative application procedures, contacting applicants if submitted application information is insufficient, conduction of examinations, announcement of results, and sending admission forms to accepted applicants.

June 2011

United Graduate School of Veterinary Sciences

Gifu University

1-1 Yanagido, Gifu-shi 501-1193, Japan

Phone: +81-58-293-2987/2988

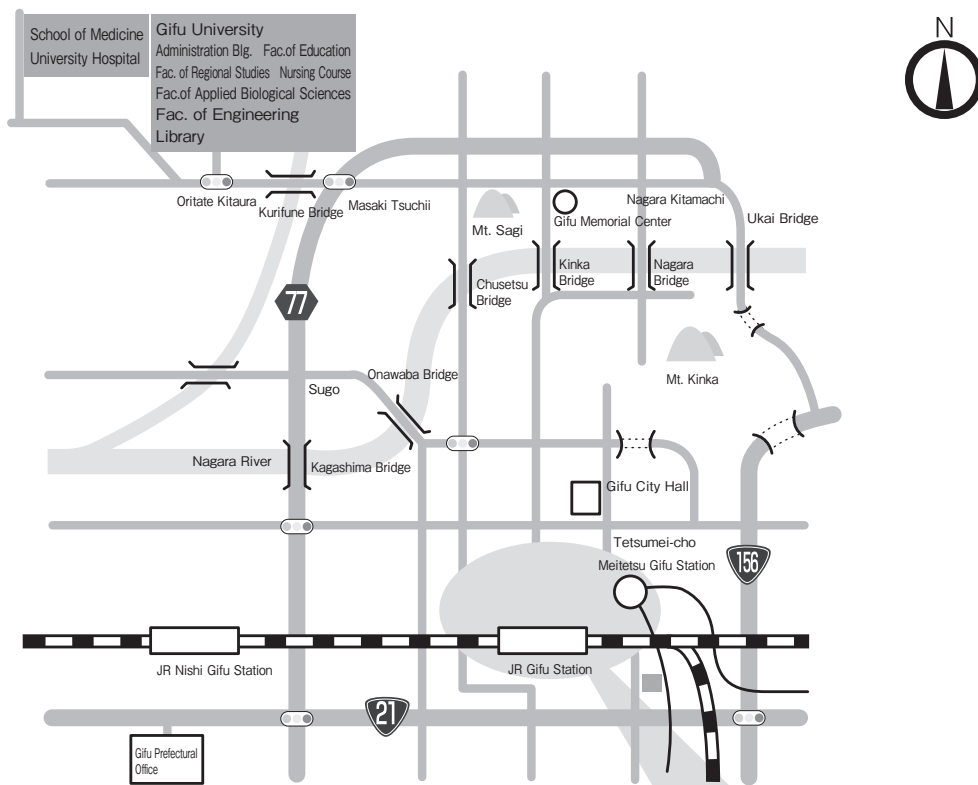
Fax: +81-58-293-2992

E-mail: [renju@gifu-u.ac.jp](mailto:renju@gifu-u.ac.jp)

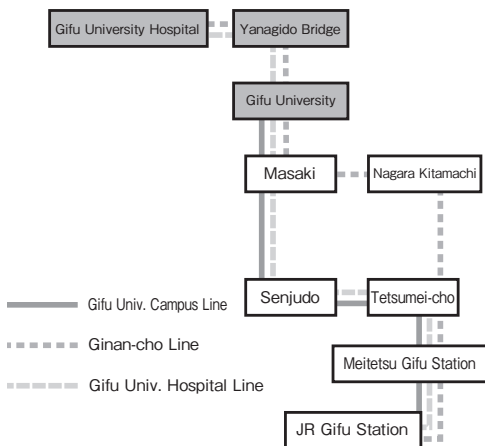
Website: <http://www.gifu-u.ac.jp/english/index.shtml>

# Access to the Venue for the Examinations

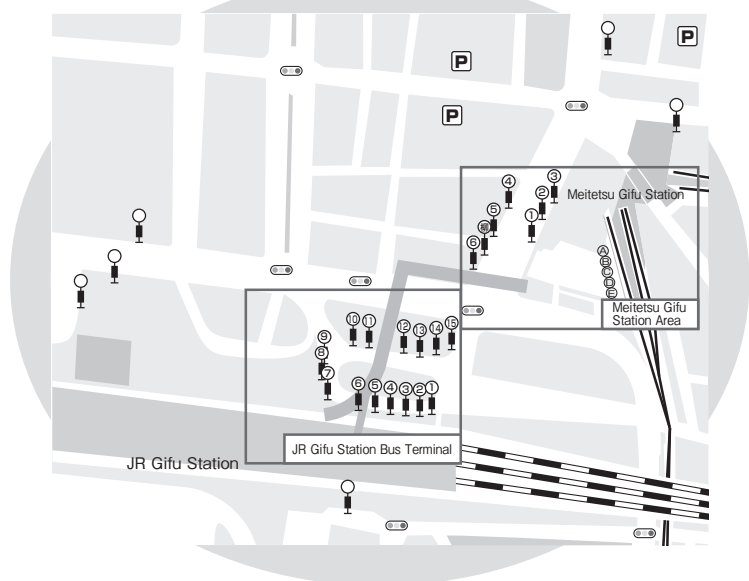
Venue	Bus Stop		Route / Line	Destination	Bus No.	Time
	JR Gifu Station	Meitetsu Gifu Station				
The United Graduate School of Veterinary Sciences, Gifu University	Bus Terminal ⑨	Bus Stop ⑤	Gifu University•Hospital Line (via Chusetsu Bridge)	Gifu University Hospital	C70	30min
		Bus Stop ①E	Gifu University•Hospital Line (Nonstop/Gidai liner)	Gifu University	C60	25min
		Bus Stop ④	Ginan-cho Line (via Nagara Kitamachi)	Gifu University Hospital	N45	35min



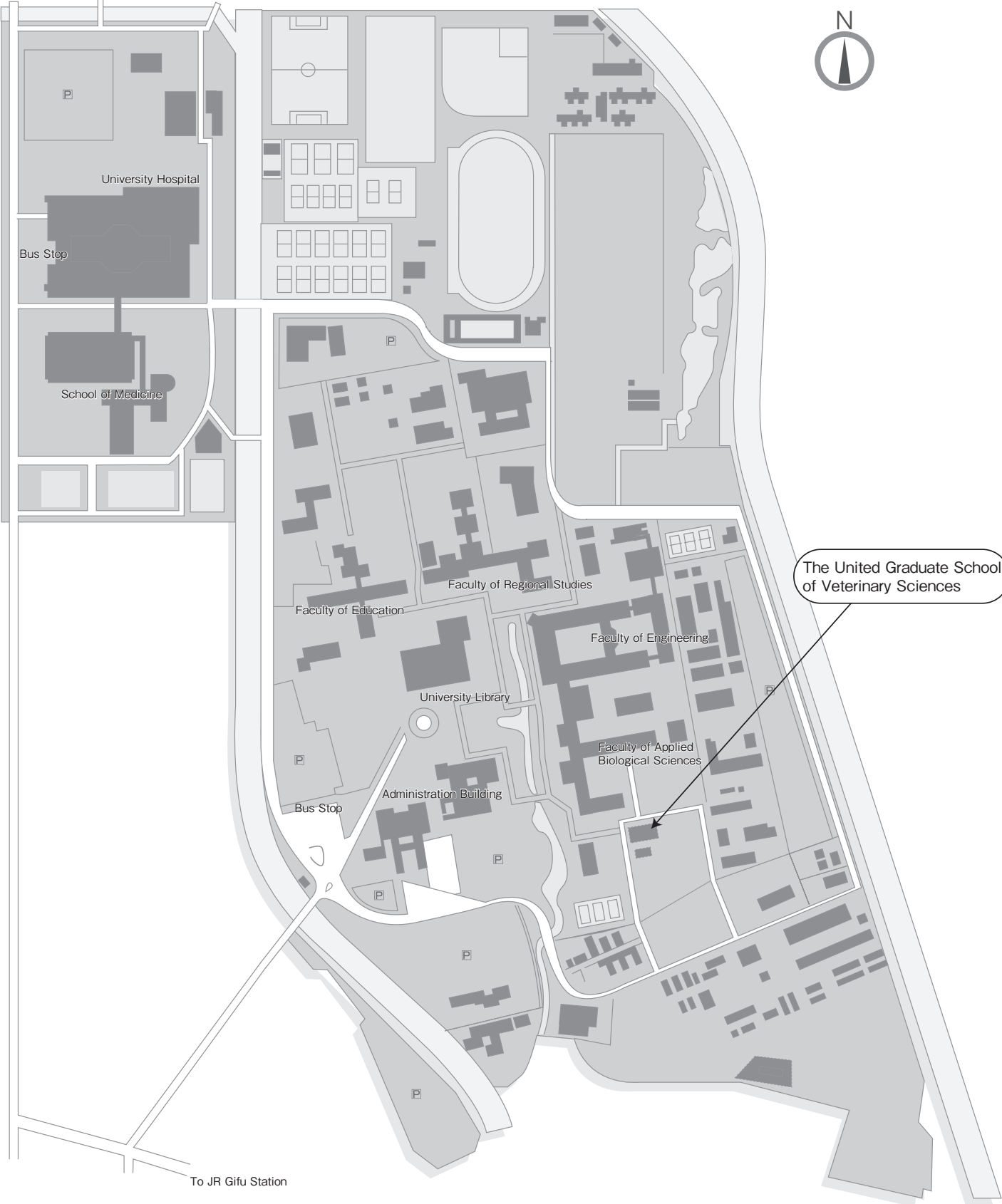
## Bus Route Map



## Stations Area Map



# Gifu University Campus Map



国立大学法人  
岐阜大学大学院連合獣医学研究科

〒501-1193 岐阜市柳戸 1 番 1

電話: (058) 293-2987/2988

Fax: (058) 293-2992

**THE UNITED GRADUATE SCHOOL OF VETERINARY SCIENCES**

**GIFU UNIVERSITY**

1-1, Yanagido, Gifu-shi 501-1193, Japan

Phone: +81-58-293-2987/2988

Fax: +81-58-293-2992